

Ⅲ 文化活動の状況

ここは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には社会教育全般の事務と文化財関係、青少年健全育成関係の事務事業があります。

1. 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

平成4年3月31日現在

分類	団 体 名	責 任 者	会員数	組 織 及 び 活 動
少 年 団 体	ボーイスカウト ガールスカウト 福生市連合育成会	森 田 治 男	人 302	ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、 シニア隊、ローバー隊 福生第1団 訓練活動(キャンプ) 福生第2団 東京191団 奉仕活動、リーダー研修
成 人 団 体	福生市文化連盟	小 林 菊 三	人 3,000	加盟団体 79 市民文化祭、文化教室 文化団体の育成活動補助、発表会
	福生市公立小中 学校PTA連合会	岩 元 紘	人 5,417	加盟団体 10 球技大会、講演会、 非行化防止パトロール
	福生市体育協会	設 楽 清 一	人 4,700	加盟団体 17 定例会、各種スポーツ教室 市民総合体育大会 都民体育大会

2. 第 22 回 市民文化祭

(1) 趣 旨

- ① 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場を作り、今後の発展をはかる。
- ② 未参加者の文化活動への参加、各種活動の育成を促す。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会、福生市文化連盟

(3) 実行組織

実行委員会構成

- ① 文化連盟役員
- ② 出展、出演団体の代表者
- ③ 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館、図書館職員

(4) 期 日

11月3日(土) ・ 4日(日) ・ 5日(月)
10日(土) ・ 11日(日) ・ 17日(土)

(5) 場 所

展示関係 — 市民会館、公民館、福祉会館、中央図書館、その他

演示場所 — 市民会館大、小ホール、その他

(6) 運営方針

- ① 同種目については主管団体が処理する。
- ② 個人及び団体、一般からの出展、出演についてはすでに主管団体があるものはその団体が、
新種目を行う団体は、その団体が主管し個人のものは教育委員会が主管する。

(7) 参加内容の限定

- ① 市民の活動であること。
- ② 市民を対象とした文化事業であること。

(8) 参加対象

全市民(在住、在学の個人及び団体)とし一人一点に限定

(9) 全般的事項

① 文化祭実施要項の決定

② 開場式 11月3日(土) 午前9時30分

市民会館小ホール

③ 準備過程

ア 広報 (ア) 公募 8月1日発行のお知らせ

申込締切 8月19日

(イ) 日程内容の周知

広報 10月15日

ポスター 10月中旬 500枚

(ウ) プログラム

5,000部

イ 案内状 総合プログラムと一緒に実行委員会で送る。

主管団体毎の招待状は各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

(ア) 指定様式に記入提出

(イ) その他必要品

エ 役員委嘱

実行委員に委嘱状を交付する。

オ 委託料の交付

680,000円

(10) 実行委員会日程

第1回	9月 4日(水)	午後7時30分	市民会館4・5集会室
第2回	9月18日(水)	午後7時30分	展示関係 市民会館4・5集会室
第3回	9月19日(木)	午後7時30分	演示関係 市民会館4・5集会室
第4回	9月26日(木)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室
第5回	10月17日(木)	午後7時30分	合同 市民会館4・5集会室

(1) 実施内容

平成4年度参加団体

演 示	103団体	行政関係	1団体
展 示	58団体	行政関係	4団体 個人6人
計	172団体 個人		
※ 期間中の延一般入場者数	約7,000人		

3. 成 人 式

(1) 趣 旨

市民が新たに社会の仲間入りをする成人者を祝い、励まし成人者が改めて成人する意味、意義を確認し合う場として、また今後は、社会の担い手として、独立した主体者として生活して行くための機会とする。

(2) 主 催

福生市、福生市教育委員会

(3) 期 日

平成4年1月15日 開式午前11:00 福生市民会館大ホール

(4) 実施内容

式典前演奏	金管五重奏		
	浅海伸夫氏 他		
式 典	開式、君が代 主催者あいさつ		
	祝辞 来賓紹介 主催者紹介 祝電披露 謝辞 閉式		
成人者	928人	出席者	533人
男	483人	男	232人
女	445人	女	301人
出席率	57.4%		

4. 社会教育委員の活動

社会教育委員

社会教育委員制度は、社会教育法15条に基づいて設置された市民参加の審議機関であり、当市は、昭和37年以来、任期2年、定数10名で構成されています。各委員は社会教育全般に亘る、調査、研究、計画の立案及び教育委員会からの諮問に市民の立場から教育長を通じて教育委員会に答申する機関です。

(1) 会議開催状況

開催日	会 場	会 議 名	内 容
平成3年4月	東京都立 多摩社会教育会館	市町村社会教育委員 連絡協議会定期総会	平成2年度事業報告・収入支出決算報告 平成3年度役員選出 〃 事業計画・収入支出予算 記念講演「英国の生涯学習社会」
5月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	平成3年度社会教育関係予算 平成3年度社会教育関係団体の補助金
6月	東京都立大学 八王子市立 子供科学館	社会教育委員視察 研 修 会	他市の社会教育施設見学
7月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	新委員の紹介、副議長の選出等
8月	茨城県社会教育 委員連絡協議会	関東甲信越静社会 教育委員研究大会	記念講演…生涯学習体系の中の社会教育 5分科会に分れ討論会
9月	日の出町会議室	都 市 社 連 協 第1ブロック研修会	社会教育の諸条件を整えるために 市町村の取組むべき社会教育の本質とは
10月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	新委員の紹介及び委嘱状の交付 関東甲信越静社会教育研究大会の報告 社会教育委員視察研修
10月	高 知 県	全国社会教育委員 研 究 大 会	「生涯学習時代における社会教育の あり方を考える」
11月	伊豆長岡町	社会教育委員視察研修	先進市における生涯学習について
11月	立川市中央公民館 ホ ー ル	社 会 教 育 委 員 全 体 研 修 会	社会教育のネットワークづくりを考える
12月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	全国社会教育委員研究大会等の報告
平成4年2月	商 工 会 館 203 会 議 室	社会教育委員会議	社会教育関係団体への補助金 平成4年度研修会について
3月	市民体育館会議室	社会教育委員会議	平成4年度社会教育計画及び社会教育関係予算について

5. 文化財保護事業

文化財保護行政の役割は、文化財を文化遺産として後世に伝えるという保存事業と文化財保護思想の普及、文化的向上に資するための資料として活用するという活用事業に分けることができます。

本市では、昭和48年に市文化財保護条例の制定、そして昭和54年の市条例改正によって保護行政の充実と強化をはかってきましたが、平成3年4月1日より文化財の浅く広い保護を目指す文化財登録制度の導入のため市条例の改正を行いました。

平成3年度には既に市指定文化財に指定されていた文化財を市登録文化財にみなし、さらに都指定文化財に指定されていた建造物1件を市登録文化財に登録しました。その結果、現在、市登録文化財は22件1,843点、市指定文化財は21件1,840点となりました。

文化財の保護は、市民一人一人の保護意識が高揚してはじめて成果のあがるものですから、意識の高揚と文化財を活用するための様々な学習の機会の設定に取り組み、実施しました。また、日々進行する地域の都市化とそれに伴う生活様式の変化による文化財の変質と消失、等々に対し、文化財総合調査を行い、所在の確認と記録の作成を行いました。郷土資料室は、文化財保護活動普及の場としての展示活動、文化財保管の場として文化遺産の収集活動、さらに収集した資料の情報の提供をおこなっていますが、既に収集した6,450件の資料の保管を迅速かつ正確に行うため平成3年10月1日より電算機を導入し、郷土資料室のさまざまな活動はもとより社会教育、学校教育をはじめ市民の方々、研究者への情報の提供をより便利に行えるよう資料管理方法を変更しました。

(1) 文化財事業方針

- ① 市内の学術上貴重な文化財を登録台帳に登録して保護する。
- ② 登録文化財の中で特に貴重な文化財を市指定文化財に指定して保護する。
- ③ 文化財総合調査の実施により所在の確認と記録の作成を行う。
- ④ 調査の成果は、報告書等によって公表し、市民の学習、研究活動等に活用する。
- ⑤ 市民の文化財に対する学習の機会を保障する。
- ⑥ 市民の文化財に対する保護、活用等の活動に対し、奨励、援助、指導等を行う。
- ⑦ 破壊、消失されつつある文化財を収集し保存する。
- ⑧ 郷土資料室において文化財の保護、保存、活用等のための普及事業を実施する。
- ⑨ 行政事務担当における事務等の整備、確立をはかる。

(2) 郷土資料室

市立中央図書館内郷土資料室で文化財の保護と活用を目的とした次の事業を行いました。

- ① 資料の収集
- ② 資料の整理・保管
- ③ 資料の調査・研究
- ④ 資料の展示・教育普及

(3) 文化財保護事業の実施状況

① 文化財登録制度の導入と実施状況

従来より市文化財保護審議会を中心に検討していた文化財登録制度を市文化財保護条例の改正により、平成4年4月1日より導入しました。この制度は条例で定義された文化財のうち、何らかの観点から市にとって重要であれば保護の対象とし、市教育委員会の備える登録文化財台帳に登録し、行政の保護の対象に入れようというものです。つまり、指定文化財制度に比べて浅く広い保護施策を目指すというものです。

しかし、市では登録文化財制度だけではどうしても文化財の保護が十分に行えない場合も想定されますので、そのような必要のある登録文化財に限り、より強い保護を加えられるよう指定文化財制度も従来どおり条例に残し、登録文化財制度と指定文化財制度を併用することとしました。

平成3年度に登録文化財に登録した文化財は22件1,843点は次表のとおりです。

番号	名 称	区 分	所 在 地	登録年月日
1	北 条 氏 照 制 札	市登録有形文化財	熊川286番地	3・4・1
2	大田蜀山人書「熊川村看北条氏令」	市登録有形文化財	熊川286番地	3・4・1
3	牛浜出水図	市登録有形文化財	熊川787番地	3・4・1
4	嘉元二年銘板碑	市登録有形民俗文化財	福生791番地	3・4・1
5	嘉元四年銘板碑	市登録有形民俗文化財	熊川716番地	3・4・1
6	長沢遺跡出土加曽利E-I式浅鉢型土器	市登録有形文化財	市教育委員会	3・4・1
7	長沢遺跡出土加曽利E-I式土器	市登録有形文化財	市教育委員会	3・4・1
8	長沢遺跡出土勝坂式土器	市登録有形文化財	市教育委員会	3・4・1

番号	名 称	区 分	所 在 地	登録年月日
9	長沢遺跡出土勝坂式土器	市登録有形文化財	市教育委員会	3・4・1
10	長 塩 氏 の 墓	市 登 録 史 跡	熊川716番地	3・4・1
11	石 棒	市登録有形文化財	福生620番地	3・4・1
12	田 沢 氏 の 墓 附、家臣の墓	市 登 録 史 跡	熊川309番地	3・4・1
13	石川家所蔵文書	市登録有形文化財	熊川286番地	3・4・1
14	内出家所蔵文書	市登録有形文化財	熊川318番地	3・4・1
15	野島家所蔵文書	市登録有形文化財	熊川671番地	3・4・1
16	熊川神社所蔵文書	市登録有形文化財	熊川660番地	3・4・1
17	石川家のケヤキ	市登録天然記念物	熊川1番地	3・4・1
18	南稻荷神社境内のケヤキ	市登録天然記念物	熊川57番地	3・4・1
19	清水家のケヤキ	市登録天然記念物	福生69番地	3・4・1
20	玉川上水開削工事跡	市 登 録 史 跡	熊川1359番地、他	3・4・1
21	玉川上水旧堀跡	市 登 録 史 跡	福生1763番地、他	3・4・1
22	熊川神社本殿 附、棟札	市登録有形文化財	熊川660番地	3・4・1

② 文化財総合調査事業の実施状況

(ア) 建造物（穀櫃）調査

近世後期に飢饉にそなえて穀物を貯蔵した穀櫃が幕府の指示によって村々に設置されました。市内に残る2棟の穀櫃は、1棟は、福生47番地の古谷武司氏所有のもので、もう1棟は、福生1217番地の田村清氏所有のものです。2棟とも未調査であったため、記録保存を目的としてその構造の調査を当3年度より2年計画で実施いたしました。

・主任調査員 山崎 弘（工学院大学教授）

(イ) 石造物調査

平成2年度より3年計画で実施した自然石舟型光背仏像浮彫墓石調査の2年目の調査を実施しました。当年度の調査は、記録票の作成と写真撮影及び拓本による記録の作成を行ないました。

・調査員 増沢 直、西脇智弥、佐島 健、新井利平、佐藤智啓、服部八重子、室井直美

(ウ) 民具調査

郷土資料室で収蔵している民具の調査を主として行っていますが、当年度は、桶屋の製作用具の調査、及び食生活で用いた汁器の実測図の作成を行いました。

・調査員 岡部悦子、田野倉紀子

(エ) 森田文庫調査

森田文庫調査は、昭和59年度より三年計画で調査を実施し、目録の作成を61年度に終了しました。調査の結果は、翌62年度に文化財総合調査報告書第20集『森田文庫資料目録』として刊行しましたが、以後、各資料の解題の作成と森田友昇関係資料の収集を続けています。なお、当年度までに収集した森田友昇関係資料の調査の結果を文化財総合調査報告書第25集として「森田友昇著作集」を刊行しました。

・調査員 安田吉人、妹尾昌典、倉島利仁

(オ) 古文書調査

古文書調査は、既に『福生市文書目録Ⅰ』（総合調査報告書第4集）を昭和50年度に刊行し、『福生市文書目録Ⅱ』（総合調査報告書第18集）を昭和59年度に刊行しています。その後、市史編さん事業が始まったことにより、市内の古文書調査は市史編さん事業が担当して行っていますが、郷土資料室に寄贈された古文書の分類整理と筆写及び判読の調査は文化財関係が行っています。

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

A 長沢遺跡

埋蔵文化財包蔵地、長沢遺跡内での土木工事（公共施設の建て替え）に伴う本調査を福生市長沢遺跡第八次調査会に委託し（事務局は福生市教育委員会）、実施しました。

・調査地番 福生市福生1058-11

・開発面積 998.90 m²

・調査期間 平成3年5月20日より平成4年度へ継続

・調査団長 和田 哲（立川女子高校教諭）

・調査員 吉富一孝

・調査補佐員 福生市シルバー事業団 他

B 11号遺跡

埋蔵文化財包蔵地11号遺跡内での土木工事（共同住宅の建築）に伴う確認調査を実施しました。

- ・調査地番 福生市大字福生字武蔵野2332-1
- ・開発面積 1661.7 m²
- ・調査期間 平成3年10月28日～10月30日
- ・発掘担当者 和田 哲
- ・調査補佐員 福生市シルバー事業団 他

C 9号遺跡

埋蔵文化財包蔵地9号遺跡内での土木工事（商用店舗の建築）に伴う確認調査（立合）を実施しました。

- ・調査地番 福生市大字福生字武蔵野2269-4・2269-5
- ・開発面積 650.33 m²
- ・調査期間 平成3年8月26日～8月27日

D 18号遺跡

埋蔵文化財包蔵地18号遺跡周辺地での土木工事（公共施設の建築）に伴う確認調査を実施しました。

- ・調査地番 福生市大字熊川722-1 他
- ・開発面積 16815.54 m²
- ・調査期間 平成4年2月1日～3月23日
- ・発掘担当者 和田 哲
- ・調査員 吉富一孝
- ・調査補佐員 福生市シルバー事業団他

③ 調査報告書の刊行

(ア) 文化財総合調査報告書第25集『森田友昇著作集』の発行。

昭和63年度より平成2年度まで実施した旧森田文庫調査の第2次調査の結果をまとめたものです。所収した資料は、選集3編、内訳は、『高むしろ集』、『横浜地名案内』、『浅川集』発句83点、連句13編、付録（友昇画像、他）11点です。また、巻末には人名索引を施しました。A5版、148頁。発行部数は1000部です。

④ 郷土資料室の運営事業

(ア) 資料の収集

市広報紙（郷土資料室だより）による協力の呼び掛け等によって民俗資料等の収集を行いま

した。

A 収蔵件数（寄贈、採集、購入等）

・民俗資料 38 件

・文芸資料 18 件

(イ) 資料の保管

A 電算機による収蔵資料管理

従来の収蔵資料等の手書きによる台帳作成を当年度10月1日より電算機へ入力する方式に変更しました。従って、検索作業を早急に行うことが可能となり、市民の方々をはじめ利用者への情報提供が容易になりました。

B 資料の保管

郷土資料室内収蔵庫（第1、第2）の薫蒸消毒を業者委託により行いました。実施期間は平成4年3月4日より3月6日までの間で、消毒の概要は次のとおりです。

場 所 郷土資料室第1収蔵庫（320㎡）、第2収蔵庫（92㎡）

対象資料 民俗、歴史、美術、自然資料

方 法 エキボン（酸化エチレン14%、臭化メチル86%）によるガス化薫蒸消毒
くん蒸消毒時間 48時間

目 的 殺虫、殺菌、殺卵

消毒効果 終了後の財団法人文化財虫害研究所による薫蒸処理効果判定の結果は殺虫、殺卵、殺カビ効果とも100パーセントでした。

(ウ) 展示、講座等、教育普及事業

A 特別企画展示

“名所図会・江戸から東京へ——鵜形 蕙 斎の「江都名所図会」を中心に——”

期 間 平成4年2月1日～3月30日

名所図会は、地名、名所、寺社などの沿革をやさしい文章と写生的な挿絵で説く、娯楽的な読み物の要素を持った地誌で、近世後期にさかんに刊行されました。今回の企画は、郷土資料室で所蔵する鵜形蕙斎の描く卷子本「江都名所図会」を中心として、各種の名所図会を展示し江戸から東京への変遷を見ていただくことをねらいとしました。

展示資料

(1) 「都名所図会」（安永9年刊）

(2) 「拾遺都名所図会」（天明7年刊）

(3) 「東海道名所図会」（寛政9年刊）

(4) 「江戸名所花暦」（文政10年）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (5) 「江戸名所図会」 (天保7年) | (6) 「日光山志」 (天保8年) |
| (7) 「狂歌江都名所図会」 (安政3年) | (8) 「江都近郊名勝一覽」 (弘化4年) |
| (9) 「東京詞」 (明治3年) | (10) 「横浜地名案内」 (明治8年) |
| (11) 「東京名勝画詞」 (明治20年) | (12) 「補遺東京名勝画詞」 (明治24年) |
| (13) 「江都名所図会」 (天明5年) | |

参考展示資料

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (14) 「武蔵野話」 (文化12年) | (15) 「料理通」 (文政5年) |
| (16) 「富岳百景」 (天保15年) | (17) 「北越雪譜」 (天保8年) |
| (18) 「東都歳時記」 (天保9年) | (19) 「改正まちづくし」 (天保13年) |

B 企画展示

- a “福生の名木展” 期間 平成3年8月1日～9月29日

福生市文化財調査報告書第24集「福生の名木」の出版を記念して、同報告書に使用した市内の大木・古木等の写真88点及びイラスト原画13点を展示しました。また、それらの樹木の所在等も紹介しました。

- b “牛浜出水図と調布玉川絵図展” 期間 平成3年10月1日～10月30日

江戸時代末期に作成された2巻の彩色鳥かん絵図は、ともに多摩川が描かれている貴重な郷土資料の一つです。展示した資料は、いずれも複製資料ですが「調布玉川絵図」は、多摩川の水源地付近から河口に至るまで、流域の各村々の位置、橋、渡し場、神社・仏閣などが詳細に描いています。また、「牛浜出水図」は、安政5年に当地(牛浜地域)を襲った大雨による冠水の被害の惨状を五日市街道の両側にならんだ家並みと多摩川を中心に描いています。いずれも史料的に価値の高い絵巻で、当時の状況を知っていただくに最適の資料です。

- c “写真展・多摩川のほとりから” 期間 平成3年11月1日～11月29日

市内を流れる多摩川に関する写真60点を展示しました。内容を「多摩川の自然」、「多摩川の昔」、「多摩川の今」の3部に分け、多摩川に生きる生物や昔の人々と多摩川の関わり、現在の多摩川の姿を紹介しました。

- d “小正月の飾り展” 期間 平成4年1月5日～1月30日

小正月の飾りの一つで、神棚に備える御神酒徳利の口を飾る全国各地のミキノクチを始め、多摩地域のマユダマやオッカドボウ等小正月の飾りものを収集し、展示しました。

C 常設展示

“ 福生の成り立ちと人々の歩み ” 期間 平成 3 年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 3 1 日

昭和 54 年 4 月の開館依頼、常設展示のテーマは“ 福生市の成り立ちと人々の歩み ” でありこの展示主題のもとに三つの分野別テーマを設け全体を構成しています。各分野のテーマは歴史分野が“ 福生市の成り立ちと歴史を学ぼう ”、民俗分野が“ 福生市の民俗とくらしを学ぼう ” 自然分野が“ 多摩川の自然を学ぼう ” です。常設展示は小・中学生対象に設定しており、展示スペースが大テーマに比して狭少であることから、各分野の展示テーマは“ ……学ぼう ” “ ……さぐろう ” “ ……観察しよう ” といった問題設定の形式を取り、観覧者の関心を引き起こすことをねらいとしています。

D 講座、学習会

a 古文書学習会（上級者） 期間 平成 3 年 6 月～ 4 年 3 月（全 10 回）

古文書の学習会は初級者を対象としたものと上級者を対象としたものを実施してきましたが当年度は上級者を対象とした学習会を実施しました。従来、実施している初級者対象の学習会に参加された方を対象として実施しているもので、読解資料には近世・近代の書簡を用いました。

・指 導 福生古文書研究会

b 遺跡発掘調査見学会 期間 平成 3 年 7 月～ 8 月（全 4 回）

当年度 5 月より開始した長沢遺跡第 8 次調査の発掘現場で説明会を行いました。出土した住居跡の解説を中心に出土土器の見学、発掘作業方法の見学を通じて埋蔵文化財の保護、調査の意義などの普及を狙いとししました。

・指 導 和田 哲氏

c バードカービング教室（成人） 期間 平成 4 年 2 月 1 5 日～ 4 年度に継続（全 7 回）

バードカービング製作をとおり、自然に対する関心を喚起することを狙いとししました。対象は初心者とし、内容は 2 種類の野鳥から製作を希望するものを受講者が選び、期間内に完成させることとししました。また、野鳥の観察会もあわせて行いました。

・指 導 成川 治氏

d 植物雑学講座（成人） 期間 平成 3 年 6 月 8 日～ 3 月 9 日（全 10 回）

植物の生態や生理など、様々な視点から植物について学習する講座です。専門的な内容ながら分かりやすく、スライド映写なども交えながら雑学的に講義を進めました。

・指 導 橋本宏典（郷土資料室臨時職員）

e 夏休み子供学習会「動物の秘密を探ろう」 期日 平成3年8月20日

コアラの飼育で話題を集めている多摩動物園を見学し、動物の生態や動物園の役割などを理解することを目的としました。なお、前日の説明会と同時に自然学習会を行い、予め基礎知識の修得をはかりました。対象は市内在住の小学4～6年生です。

・指 導 橋本宏典（郷土資料室臨時職員）

E 出 版 物

a 特別企画展図録 「江戸名所図絵～江戸から東京へ～」A4版 1000冊

b 「郷土資料室年報11」 B5版 500冊

F 市民、団体、研究者等への情報提供、援助、奨励

文化財の保存と活用に関わる学習、研究等を行っている市民、 体及び研究者等への情報提供や印刷援助等を行いました。

(4) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、福生市教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議するために8人の委員が委嘱されています。

会議の開催

平成3年7月6日 東京都指定有形文化財熊川神社本殿の市登録有形文化財登録について

審議会委員研修の日程等について

2月29日 平成4年度の登録文化財登録について

平成4年度の文化財保護費予算案及び事業計画について

研修の実施

昭和63年8月22日～23日

栃木、茨城、群馬県内の文化財保護行政の推進状況及び博物館等の普及活動について視察しました。

6. 青少年健全育成

青少年が社会の一員として愛され、良い環境の中で心身共に健やかに成長することを目指し、好ましくない環境の浄化に努めると共に諸施設の推進を図っていく。

(1) 青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の附属機関であり、青少年健全育成に関する総合的施策の樹立について、調査審議し関係行政機関の相互連絡調整及び意見等を求める機関です。

開 催 日	会 議 内 容
平成 3 年 7 月	1. 新委員の紹介、委嘱状交付について 2. 福生市青少年海外派遣生の選考結果について 3. 視察研修（新東京丸にて東京湾のウォーターフロント計画視察）
平成 4 年 2 月	1. 平成 4 年度福生市青少年健全育成事業計画（案）について 2. 講演「生き生きした福生っ子の育成をめざして」石橋 博指導主事

(2) 青少年問題地区委員長会

地域社会にあって、青少年の健全育成を図るため青少年問題協議会において、調整した施策に協力し、地域の実情に応じた事業を実施し委員会相互に連絡、協力して社会環境の浄化を図っていく。

開 催 日	会 議 名	会 議 内 容
平成 3 年 5 月	地区委員長会	役員の改選について 視察研修について
5 月	地区委員長会	役員研修（横浜ドリームランド）
6 月	地区委員長会	歓送迎会
7 月	地区委員長会	夏休み行事について 平成 3 年度補助金交付について ラジオ体操カードの配布について
9 月	理 事 会	ハイキングの実施について
11 月	地 区 委 員 会	ハイキング（多摩川自然遊歩道～クジラ公園）
1 月	理 事 会	講演会の実施について 平成 4 年度事業計画（案）について
2 月	地区委員長会	講演会 こどもから大人へ 講師 東口 重信
2 月	地区委員長会	平成 4 年度主催事業について

平成 3 年 度 青 少 年 問 題 地 区 委 員 会 実 績

地区委員会等の 名 称	委員数	児 童 生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の	活動数	参 加 延人数	事 業 費	市補助金	そ の 他
熊 川 住 宅	6	194	夏休みパトロール、団地祭、ラジオ体操等	8	900	100,819	66,230	34,589
南	15	84	非行防止パトロール、ラジオ体操、ハイキング等	8	465	221,262	46,820	174,442
内 出	11	169	非行防止パトロール、町内運動会等	9	1,531	170,650	61,810	108,840
武 蔵 野	39	123	非行防止パトロール、餅つき大会等	17	564	294,936	53,700	241,236
福 東	17	348	夜間パトロール、ラジオ体操、ハイキング等	7	1,340	93,390	93,390	0
南田園1丁目	28	172	非行防止パトロール、青少年キャンプ等	16	1,260	133,092	62,340	70,752
鍋 1	10	304	一声運動、いもに会、講演会等	10	550	140,000	85,630	54,370
鍋 2	25	393	悪書自販機追放運動、餅つき大会等	40	2,500	534,983	101,330	433,653
玉 川 台	25	35	非行防止パトロール、夏祭、親子親睦会等	17	429	78,300	38,170	40,130
富 士 見 台	8	19	映画によるPR、スキー教室等	15	660	113,350	35,350	78,000
福 栄	12	88	非行防止パトロール、ラジオ体操等	7	610	610,000	47,520	562,480
熊 牛	23	327	夏休みパトロール、スポーツ大会等	12	1,680	570,000	89,690	480,310

地区委員会等の 名 称	委員数	児 童 生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の	活動数	参 加 延人数	事 業 費	市補助金	そ の 他
南田園3丁目	30	114	ほたる祭パトロール、町内大運動会等	6	450	137,617	52,110	85,507
牛 1	21	132	交通安全運動、町内運動会等	18	331	130,513	55,290	75,223
牛 2	18	207	夜間パトロール、町内球技大会等	20	1,915	210,000	68,520	141,480
原ヶ谷戸	21	387	夜間パトロール、町内運動会等	8	1,029	164,900	100,270	64,630
志 茂 1	25	242	町内パトロール、野外オリエンテーリング等	6	500	95,000	74,690	20,310
志 茂 2	27	192	一斉生徒集会、町内運動会等	22	1,906	1,385,500	65,870	1,319,630
本 町 1	8	26	夜間パトロール、4校対抗球技大会等	15	261	159,497	36,590	122,907
本 町 2	20	40	球技大会、親子運動会等	18	305	177,800	39,060	138,740
本 町 3	14	31	夏休みパトロール、盆踊り大会、運動会等	6	205	207,632	37,470	170,162
中 央	14	19	夜間パトロール、各種運動会等	14	355	166,000	35,350	130,650
本 町 6	22	59	交通安全及び一声運動、ラジオ体操、川遊び等	13	846	496,033	42,410	453,623
本 町 7	15	254	夜間パトロール、子供会キャンプ等	14	1,098	137,910	76,810	61,100
本町8第1	24	360	非行防止父母会、子供会ニュース発行	47	4,315	958,743	95,510	863,233

地区委員会等の 名 称	委員数	児 童 生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の	活動数	参 加 延人数	事業費	市補助金	そ の 他
本 町 8 第 2	26	274	家庭教育研修会、遠足、運動会等	15	2,243	553,660	80,340	473,320
武 蔵 野 台 1 丁 目	28	339	七夕巡回補導、ラジオ体操、運動会等	10	1,162	647,671	91,800	555,871
加 美 平 住 宅	20	340	小学生との懇談会、運動会等	11	1,030	395,500	91,980	303,520
永 田	6	122	非行防止パトロール、盆踊り、祭礼、運動会等	19	1,042	268,800	53,520	215,280
長 沢 1	16	94	早起き会等、親子運動会、展覧会等	20	783	269,000	48,580	220,420
長 沢 2	18	49	盆踊り大会、親子運動会、展覧会等	13	783	269,000	40,640	228,360
加 美 1	6	68	非行防止映画、運動会等	19	548	65,067	44,000	21,067
加 美 2	21	381	非行防止映画、納涼大会、運動会等	22	2,933	193,539	99,210	94,329
合 計	619	5,986		502	36,529	10,150,164	2,112,000	8,038,164

(3) 平成3年度青少年対策事業

① 社会教育課、体育館

○家庭の日推進事業

○一声運動

○青少年の社会参加活動推進事業

○青少協だより(7月、11月、2月、3月)

○青少年問題講演会(2月14日 講師 東口 重信)

○青少年問題地区委員長会役員研修(横浜ドリームランド)

○家庭の日 図画、作文募集(夏休み期間 図画270点 作文は応募なし)

○善行少年表彰(個人生活の徳行 木村 和生君)

○子供自然観察会(8月22日 富士山28名)

○各種運動(家庭の日 一声運動) チラシ配布

○水泳教室(小、中学生) 1回 20名

○小学生バレーボール教室 51回 1,274名

○小学生バスケット教室 28回 767名

○小学生バドミントン教室 50回 1,359名

○幼児体操教室 34回 948名

○親子スポーツ教室 25回 1,056名

○小学生エンジョイ体操教室 29回 510名

② 市民会館、公民館

○こども教室 25回 750名

○夏休みおもしろ科学・歴史教室 4回 20名

○たんけん教室 12回 187名

○子供将棋教室 11回 88名

○自然観察会 10回 307名

○子どもアウトドア教室 5回 155名

③ 図書館

○科学であそぼう 3回 95名

◦めるへんめーかーイラスト原画展		402名
◦クリスマス会	3回	571名
◦おはなし会	126回	3,285名
◦子供映画会	9回	1,315名

(4) 地区活動への援助

① 補助金

◦地区委員長会への補助金	33地区	2,112,000円
◦青少年の社会参加	33地区	99,000円

② その他の援助

- 事務的援助（コピー、印刷等）
- 各種大会等の開催援助（野球用具、レクリエーション、備品等の貸出し）
- 講演会、研修会の開催援助（講師の紹介、会場の確保）

7. 青少年海外派遣事業

(1) 目的

青少年を海外に派遣し、その国の歴史を学び、文化及び風土に直接接し人々と交流することによって、相互理解を深め将来、国際的な視野に立って活躍出来る人材の育成を図っていく。

(2) 対象者

- 日本国籍を有し平成3年4月1日現在において、福生市に引き続き1年以上居住していること。
- 学校教育法に基づく中学校に在学していること。
- 心身共に健康で協調性に富み規律ある団体生活が出来ること。
- 派遣生としての体験を生かして、帰国後も地域や学校において活発な活動が出来ること。
- 保護者の承認が得られること。

(3) 応募方法及び申込期間

写真を添付し原稿用紙（400字詰）2枚以内に作文「参加の動機について」を書いて申し込む。

平成3年4月1日～平成3年4月15日

(3) 応募状況

学 校 名	男 子	女 子	計
市立第一中学校	0	6	6
市立第二中学校	9	19	28
市立第三中学校	2	19	21
私 立 中 学 校	4	17	21
計	15	61	76

(4) 派遣生選考結果

中学生10名(女子)

(5) 派遣日程

7月24日～8月8日

(6) 派遣先

アメリカ合衆国アラバマ州他

(7) 帰国報告会

平成3年8月20日

市役所3階会議室

8. 集会施設の利用状況

扶桑会館利用状況

区分 月	集会室		和室		会議室		合 計			
	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	申請 件数	人 数	使 用 料	
									件 数	金 額
4	26	773	31	350	13	124	70	1,247	27	36,800
5	38	1,014	27	376	24	225	89	1,615	22	22,800
6	27	835	30	391	22	277	79	1,503	26	27,200
7	34	1,127	27	396	13	95	74	1,618	17	21,000
8	21	483	15	170	13	106	49	759	14	14,400
9	34	1,043	33	637	22	173	89	1,853	29	37,400
10	31	732	35	496	24	221	90	1,449	38	41,200
11	38	1,086	27	421	17	176	82	1,683	33	46,500
12	19	411	21	304	17	94	57	809	16	18,700
平成4年 1	32	850	26	323	12	121	70	1,294	17	22,700
2	38	1,191	20	263	19	216	77	1,670	24	28,600
3	43	1,151	33	472	19	165	95	1,788	34	37,300
合 計	381	10,696	325	4,599	215	1,993	921	17,288	297	354,600

月平均 76.7件 1,440人

か え で 館 利 用 状 況

区 分 月	集 会 室		和 室		会 議 室		合 計			
	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	申 請 件 数	人 数	使 用 料	
									件 数	金 額
4	31	526	33	514	10	136	74	1,176	31	27,000
5	38	545	47	637	7	65	92	1,247	36	35,100
6	38	719	32	412	18	270	88	1,401	29	24,600
7	26	366	27	399	6	98	59	863	28	24,900
8	26	385	30	402	8	69	64	856	29	27,600
9	31	508	30	482	10	122	71	1,112	27	27,900
10	40	767	32	576	21	226	93	1,569	25	18,000
11	21	509	20	345	9	185	50	1,039	18	14,700
12	23	305	17	285	9	92	49	682	17	12,000
平成4年 1	33	568	26	410	14	137	73	1,115	29	23,700
2	32	426	23	375	12	140	67	941	24	19,800
3	36	460	24	409	13	95	73	964	26	21,600
合 計	375	6,084	341	5,246	137	1,635	853	12,965	319	276,900

月平均 71件 1,080人

9. 展示施設の利用状況

プチギャラリーの利用状況

市民文化の向上及び市内商工業の振興を図るため、展示施設として7月1日にオープンし、
広く市民のかたに利用された。（建築延床面積 326.73㎡）

月	区分	第一展示室	第二展示室	合 計		
				申請件数	入場者数	使 用 料
						件 数 金 額
4						
5						
6						
7		2	2	4	4,197	0 0
8		3	0	3	3,272	0 0
9		3	0	3	1,889	0 0
10		5	0	5	2,408	0 0
11		3	0	3	1,890	0 0
12		2	2	4	1,388	0 0
平成4年1		3	2	5	1,958	0 0
2		4	3	7	2,198	0 0
3		2	1	3	2,843	3 65,000
合 計		27	10	37	22,043	3 65,000

展示内容 絵画（13） 写真（8） 手芸（9） 陶芸（3） 書道（2）

さつき（1） 彫刻（1） 物産展を2回実施